

(様式2)

## 健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 中播磨健康福祉事務所

### 1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none"><li>管内の現状として、肥満、メタボリックシンドローム該当者・予備群が多く、高血圧、糖尿病、脂質異常の割合が高い傾向にあり、標準化死亡比においては全町で高血圧性疾患が全県より高い状況である。(参考: 兵庫健康Dateダッシュボード40~64歳)</li><li>管内の幼児、学童の肥満児出現率も県平均よりも高い傾向にあり、生涯における健康づくりの推進を見据えた幼児期から青年期世代を対象とした健康的な生活習慣の定着と実践に向けた取組みが必要である。(R3年度学校保健統計/5才~11才の全年齢において県平均より肥満傾向児出現率が高い)</li></ul>
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none"><li>青年期(高校生、大学生)を対象に食への理解や関心を深めるための学習等を実践し、食を自己管理できる力を身につける。</li><li>また、活動を通して、教育機関における食育の体制づくりを促進する。</li><li>生涯における健康づくりの推進に向けた幼児期から青年期世代の健康を支援する体制づくりを通じて、地域の健康課題の解決策を模索する。</li></ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>大学生の食に関する実態・意識調査の実施を通じて、若い世代の食生活の現状を再確認でき、重点的に取り組むべき課題を見出せたことにより、地域で取組む方向性が定まり、関係者との共通理解も深めることができた。</li></ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>大学、高校との連携による効果的な啓発方法の検討と継続的取組の実践。</li><li>幼児期からの青年期の若い世代の重要課題(朝食・適正体重の維持)を中心に関係機関・団体との一体的な食育推進の実践。</li></ul>

### 2 会議の開催状況

実施日時	<p>①令和6年5月15日(水)13:30~14:30 &lt;大学との打合せ会&gt;</p> <p>②令和7年2月27日(木)13:30~15:15</p>
参集者 (団体数及び人数)	<p>①2機関・5人(管内大学、健康福祉事務所)</p> <p>②13機関・18人(歯科医師会、歯科衛生士会、中播磨圏域栄養CS、いづみ会、小・中学校養護教諭部会、町、健康福祉事務所)</p>
協議内容	<p>①食育事業打合せ会 (1)事業の概要説明、(2)食育実践活動の内容について、(3)学生の健康に関する現状と課題について</p> <p>②栄養・歯科保健対策推進会議 (1)R6年度身体状況調査結果について、(2)R6年度健やか食育プロジェクト事業の実施報告、(3)各機関での取組み報告、(4)意見交換(幼児期から青年期の栄養・歯科保健の現状と課題について)</p>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"><li>幼児期から青年期世代への健康的な生活習慣の定着と実践により、地域の健康課題解決に向けて取組み、健康寿命の延伸をめざす。</li><li>生涯における健康づくりの推進を見据えた関係機関・団体との連携体制を整備し、住民に向けた一体的な食育推進に取り組む。</li></ul>

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

### 3 食育実践活動の結果

テーマ	若い世代（青年期）への食育推進～		
対象及び参加者数	①高校生、保護者、教員等 73人 ②大学生、保護者、住民等 130人 ③高校生、保護者、教員等 76人 ④大学生（食に関する実態・意識アンケート調査） 231人		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	①6月14日（金） 11:00～13:00 県立福崎高校	(1)パネルDEアンケート（歯科・食育） (2)パネル等展示、リーフレット配布	（スタッフ） 健康福祉事務所 生徒（学校保健委員）
	②10月27日（日） 10:00～13:30 神戸医療未来大学	(1)朝ごはんクイズ (2)パネル等展示、リーフレット配布	（スタッフ） 健康福祉事務所、大学職員
	③11月21日（木） 9:45～13:45 市川高校	(1)パネルDEアンケート（歯科・食育） (2)パネル等展示、リーフレット配布	（スタッフ） 健康福祉事務所 生徒（学校保健委員）
成 果	④9月末～10月 中旬、R7.2月 神戸医療未来大学	・大学生の「食」に関する実態・意識アンケート調査 (対象：大学1年生～4年生) ・調査結果を踏まえた啓発資料の作成、配布	（スタッフ） 健康福祉事務所、大学職員
	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりや食育のアプローチをする機会が少ない高校生等に対して、朝食摂取や間食に関する啓発活動、アンケート（朝食、歯科）を実施することにより、生徒・学生に加えて保護者や学校関係者に対して食育上の課題を提起する機会となった。</li> <li>・高校側もPRタイムやスタンプラリーの設定等の工夫により食育ブースに参加する生徒の増加に積極的に取組んだ。</li> <li>・大学生の「食」に関する実態・意識アンケート調査を通じて、若い世代の食生活の現状を再確認できたとともに地域で重点的に取組む優先課題を見出せたことにより、地域で取組む方向性が定まり、関係者との共通理解も深めることができた。</li> </ul> <p><b>【評価指標と目標値及び達成状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高校での食育活動に参加する生徒等の増加 (A校) R5年 49名 → R6年 73人 参加率49%増 (B校) R5年 87人 → R6年 76人 参加率23%減 *啓発活動時間が1時間短かったことが要因と考えられる</li> <li>○管内大学での「食」に関する実態・意識アンケート調査の回収率 57.8% 調査結果を踏まえた啓発資料の配布について、全学生（卒業生、R7全学生）への新年度オリエンテーション時の説明・配布、大学、寮、食堂での掲示の協力が大学から得られた。 また、次年度の継続的な食育活動の連携体制を確保することができた。</li> </ul>		
今後の課題	・幼児期からの青年期の若い世代の重要課題（朝食摂取、適正体重の維持等）に対する関係機関・団体との継続的かつ一体的な食育体制の推進		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

# 令和6年度 健やか食育プロジェクト事業

## ～若い世代(青年期)への食育推進～

### Ⅰ 健やか食育推進会議

#### 〈第1回〉 食育事業打合せ会

日時 R6.5.15(水) 13:30~14:30  
収集 2機関/5人(大学、健康福祉事務所)  
内容 ●事業の概要説明  
●食育実践活動の内容案について  
●情報共有(学生の健康に関する現状と課題について等)



幼児期から青年期世代の健康づくりの推進のために「朝食摂取」及び「適正体重の維持」が重点的な課題であることを再確認し、関係者による一体的な取組の必要性を呼びかけました！

#### 〈第2回〉 栄養・歯科保健対策推進会議

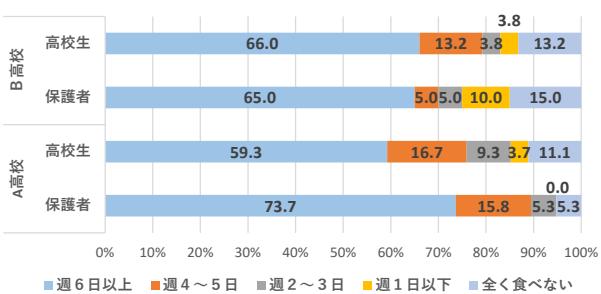
日時 R7.2.27(金) 13:30~15:15  
収集 13機関/18人  
(歯科医師会、歯科衛生士、栄養ケア・ステーション、いずみ会、小・中学校養護教諭部会、町、健康福祉事務所)  
内容 ●R6年度子どもの身体状況調査結果について  
●R6年度健やか食育プロジェクト事業実施報告  
●各関係機関・団体での食育の取組報告  
●意見交換(幼児期から青年期の栄養・歯科保健の現状と課題について等)

### 2 食育実践活動

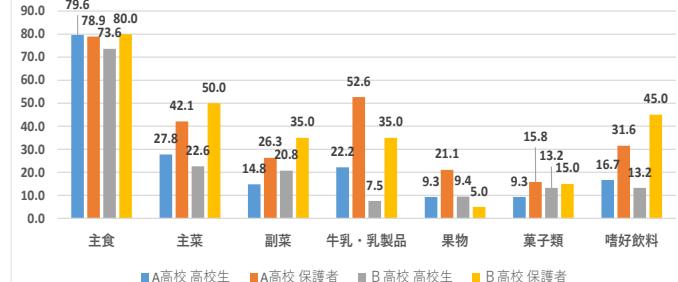
#### 高校生への食育活動



朝ごはんの摂取頻度 (A校・B校)



朝ごはんの内容 (A校・B校)



\*朝ごはんを「週6日以上食べている」と回答した生徒は全体の約6~7割。「全く食べない」と回答した生徒は2校とも約1割で県平均(R3 ひょうご栄養・食生活実態調査結果/15~19歳)よりも欠食率が高い結果となりました。★保護者も欠食率も高い傾向！

\*朝ごはんの内容について、主食に主菜、副菜といろいろなメニューを組合せて食べている生徒の割合が低い傾向にあり、栄養バランスを意識した朝ごはん摂取についての啓発が課題！

## 大学祭での食育活動



大学への働きかけにより、学祭での健康・食育ブースの設置が叶いました！



学生と保護者がクイズに挑戦し、朝ごはんの大切さを親子で確認！



朝ごはんクイズ

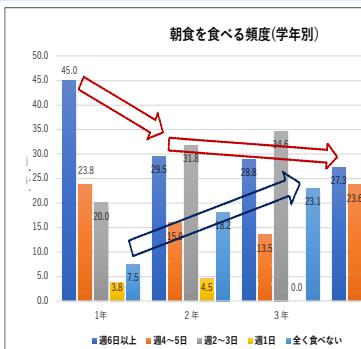
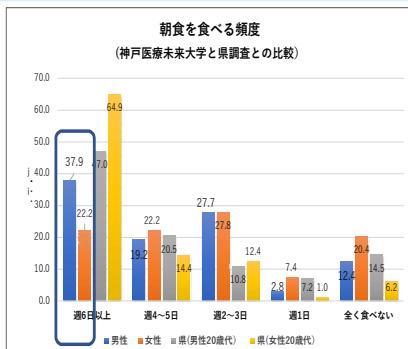
朝食、清涼飲料水、間食のパネル等の展示

## 大学生の「食」に関する実態・意識アンケート調査

### 大学生の「食」に関する実態・意識アンケート調査

#### アンケート結果からみる要点① 朝食摂取について

- 朝食を「週6日以上」食べている学生は、男子が3人に1人（約38%）、女子が5人に1人（約22%）兵庫県（R3ひょうご栄養・食生活実態調査）の20歳代と比較すると男子は約1割、女子は約4割も少ない。
- 学年でみると、1年生の2人に1人（約45%）は「週6日以上」食べている。学年が上がるにつれて、朝食を食べない割合が高くなる傾向。
- 朝食を食べる習慣がなくなった時期は、「大学生になってから」の学生が約4割。

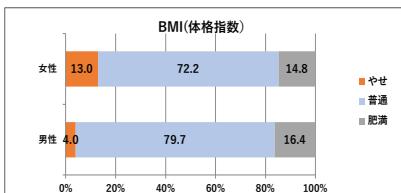


#### 調査結果を踏まえて。

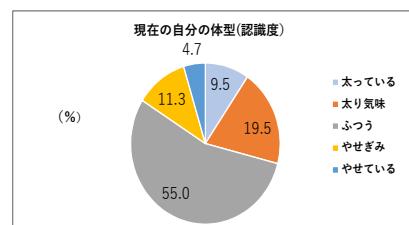
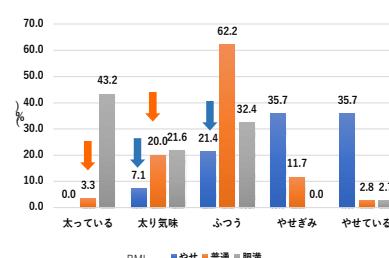
学生への普及啓発リーフレットの作成・配布を行いました。

#### アンケート結果からみる要点② 体格の認識について

- 学生の体格（BMI）と体型認識（ボディイメージ）に一部ズレが生じている。
- この体型認識のズレにより、必要のない減量や朝食の欠食に繋がっていく可能性が否めない。



#### BMIと体型認識の関係



#### 学生寮等での掲示



リーフレットを校内、学生寮、食堂に掲示、また卒業式、新年度オリエンテーション時に学生に啓発することになりました！